

小村壽太郎 こむら じゆうたろう 外交官。安政二年九月十六日向國生れ、明治四十四年十一月二十一日歿（八十五）（九二）。東京胤成學校卒。明治八年アメリカ留學。外務省權少書記官、翻譯局長等々を経く、二十六年駐清國公使館一等書記官、強硬論者として日清開戦を推進。二十四年外相、翌年日英同盟締結、二十八年ポーツマス條約の調印、四十一年陸相兼外相、のち條約改正、日韓併合を行ふ。侯爵。

文獻、中山武夫著『小村壽太郎傳』（昭和十五年十月十五日新興亞社）、神戸雄一著『偉人小村壽太郎』（昭和十七年八月二十日小學館）、信夫淳平著『小村壽太郎』（昭和十七年十一月六日新潮社）『新傳記叢書』（宿利重一著『小村壽太郎・北京篇』（昭和十八年六月十日春秋社）松村館）、石井一郎著『饒幸の父小村壽太郎』（昭和十八年六月十五日東邦出版社）、吉村昭著『ポーツマスの旗』外相・小村壽太郎』（昭和五十四年十一月二十日新潮社）等。

